

西脇宏樹



日本内科学会総合内科専門医・病歴評価委員、日本腎臓学会専門医・指導医・評議員、学術委員会システマティックレビューチーム、日本リウマチ学会専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、米国内科学会上級会員（Fellow of American College of Physician）、日本臨床疫学会会員、公衆衛生学修士（社会人）、医学博士

2005年、昭和大学卒業。昭和大学藤が丘病院、聖隷横浜病院、富士吉田市立病院にて内科・腎臓・透析診療に従事。2014年4月、福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンターフェローに就任。同年京都大学大学院社会健康医学系医療疫学分野修士課程に進学し2016年修了。その他、京都大学臨床研究者養成プログラム（MCR）や2015年ハーバード公衆衛生大学院 Principles and Practice of Clinical Research (PPCR)にて臨床研究リテラシーを習得している。2017年4月より昭和大学藤が丘病院内科学講座腎臓内科部門に着任。2019年6月より同大学統括研究推進センター兼担。

佐々木彰らと共に JOINT-KD (Japanese Investigators with Innovative Network for Kidney Disease)の企画運営に従事し同研究会より若手医師の研究フィールド構築と臨床研究論文の発信を続けている。

社会活動としては厚生労働省難治性疾患克服研究事業進行性腎障害に関する調査研究班、診療ガイドライン作成分科会 エビデンスに基づくネフローゼ症候群ガイドライン作成委員としてガイドラインの改訂・作成に従事。過去には腎性貧血ガイドライン外部評価委員（日本透析医学会）、薬剤性腎障害ガイドライン作成委員（日本腎臓学会）を務めている。

獲得した競争的研究資金としては科学研究費補助金 基盤研究(C) 平成 30 年～32 年度 (課題番号 18K10828)がある。

〔主たる業績〕

1. **Nishiwaki H**, et al. External validity of the quick Sequential Organ Failure Assessment (qSOFA) score for mortality and bacteraemia risk evaluation in Japanese patients undergoing haemodialysis. BMJ open [in press].
2. **Nishiwaki H**, et al. The association of the difference in hemoglobin levels before and after hemodialysis with the risk of 1-year mortality in patients undergoing hemodialysis. Results from a nationwide cohort study of the Japanese Renal Data Registry. PLoS One. 2019 Jan 10;14(1):e0210533